

技術監理局

一般会計要求総額 181 百万円
(対前年度 +1.3%)

【平成29年度 予算要求の経営方針】

技術監理局は、技術系部局を総合的に支援し、設計から竣工、検査まで一貫したサポート体制で工事の適正な執行と品質確保の強化を推進します。

また、市の契約部門の総括として、適正な規約事務を推進しながら、本市経済の振興と地元企業の育成や、公共工事等市の事務事業から暴力団等を排除、そして、実態のない業者等不良不適格業者の排除等に努めます。

【平成29年度 予算要求の基本的な考え方】

○：新規事業、◎：拡充事業

◎ i-Constructionの推進 要求額 2百万円 (対前年度 +100%)

全ての建設工事工程のプロセスでICT等を活用し、建設業の生産性向上を図る「i-Construction」を推進するため、受発注者に「i-Construction」の普及を図るシンポジウムや現場見学会を実施する。

- ・ ○ i-Construction推進事業

◎ 適正な工事価格の設定 要求額 67百万円 (対前年度 +2%)

公共工事の適正な執行を図るため、国及び他都市の取り組み状況や市場動向の調査を進めながら、設計単価及び設計積算基準等の整備・更新を行い、設計積算書作成システムの効率的な運用を図る。

- ・ ◎ 技術監理関連業務

◎ 市の事務事業からの暴力団等の排除等 要求額 6百万円 (対前年度 +1%)

「北九州市暴力団排除条例」等に基づき、公共工事など市の事務事業から暴力団等を排除する。また、実態のない業者等不良不適格業者の排除にも努める。

- ・ ◎ 公共工事に係る暴力等相談業務

◎ 電子入札システム等の改修 要求額 28百万円 (対前年度 +13%)

契約管理システムで設定した最低制限価格等の電子入札システムへの連携追加や平成29年7月のマイナンバー制度の運用開始に伴うセキュリティ確保のための電子入札専用端末の導入を行う。

- ・ ◎ (仮称) 電子入札コアシステム改修等経費

※ 公開時点での予算要求の内容であり、平成29年度に実施することが確定しているものではありません。